



地域医療連携新聞

No.21
平成20年2月号
(隔月発行)

発行/朝日大学村上記念病院(地域医療連携室)
岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL.058-253-8001(代)
TEL.058-253-8920(直) FAX.058-253-8910(直)

最近の話題・トピックス

「経口血糖降下剤による低血糖」

糖尿病・甲状腺・内分泌科 武田 則之

今回は経口糖尿病薬のスルフォニルユレア(SU)剤による低血糖を取り上げます。新しくはありませんが高齢化社会で重要性が増している話題です。つい最近(平成20年1月11日)もオイグルコンによる低血糖・昏睡状態で救急入院、正常意識の回復に24時間を要した77歳の男性例を当院で経験しました。2003年からの3年間に神戸中央市民病院の救急外来を受診した薬剤性低血糖症による意識障害50例では(糖尿病50:129,2007)36例がSU剤、13例がインスリン、1例が両剤併用でした。低血糖回復後も昏睡から回復しなかった3例中1例がインスリンで2例はSU剤でした。また愛知県内の309病院にアンケートを依頼し2002年9月からの半年間に他人による治療が必要であった低血糖症の調査(糖尿病49:251,2006)では糖尿病患者160例中インスリンによるものが94例、SU剤が65例、ナテグリニドが1例でした。死亡は2例でSU剤が1例で透析前腎不全でのナテグリニド使用1例。脳の後遺障害例3例はいずれもSU剤でした。これらの成績はSU剤による低血糖症の怖さを如実に示しています。

低血糖症はブドウ糖(エネルギー)不足による脳の機能障害です。診断基準となる血糖値は厳密には規定できませんが、血糖値31mg/dl以下になると生体防御反応としてまずインスリン分泌が低下し68mg/dl以下でグルカゴンなどのインスリン拮抗ホルモンが分泌され、54mg/dl以下で発汗、動悸、脱力感、不安感、視力・視覚異常、意識障害、異常行動などの症状が発現するとされています(J Clin Invest 117:868,2007)。重篤な低血糖が長時間持続すると脳の不可逆変化を起こします。猿の実験では血糖値20mg/dl以下の状

態に5~6時間以上さらすと確実に脳の不可逆変化を起こしたと報告されています。

SU剤による低血糖症の正確な頻度は不明ですが、これまでの報告からは1年間でSU剤使用患者100人に1件程度の重症低血糖の発症が想定されます。インスリンやSU剤治療に伴う低血糖症の危険因子あるいは誘因としてはまず高齢があげられます。75歳以上の後期高齢者の割合は上述の神戸中央市民病院の報告では31例/50例(62%)、愛知県での調査でも48例/160例(30%)と高頻度です。年齢に次いで、腎不全、肝機能低下、アルコール、食事摂取不足などです。

SU剤による低血糖の治療の最大の注意点は低血糖の遷延・再発です。ブドウ糖投与で血糖値が上昇し患者が回復しても、すぐ帰してはいけません。自宅で再び低血糖状態となる危険があります。最低でも24時間は血糖値をモニターする必要がある長時間作用製剤では72時間までモニターすべきだとされています。治療は血糖値がもはや低下しなくなるまでブドウ糖の経口あるいは経静脈的投与を続けることです。静脈ルートが確保できない時や心不全などで輸液量が制限される場合には他の手段が必要となります。また、ブドウ糖を投与するとSU剤刺激下の膵β細胞からさらにインスリンが分泌されてリバウンドで血糖値が低下してしまうブドウ糖投与に対する不応例も報告されています。このような場合の薬剤としてグルカゴンとoctreotide(サンドスタチン®)があります。グルカゴンは皮下注や筋注が可能で肝グリコーゲン分解を促進し血糖値を上昇させますが一方でインスリン分泌促進作用があり、SU剤の低血糖では無効例が報告されています。サンドスタチンはインスリン分泌を抑制する薬剤です。日本では低血糖に保険適応がありませんが、SU剤による低血糖のantidote(解毒剤)とも呼ぶこともあるようです。投与量としては50μg単回皮下投与、50μgを8時間毎、持続静注などがあります(Critical Care 9:543,2005)。

SU剤はインスリン注射に比べより安易に使用し、低血糖に対する患者教育もおろそかになりがちです。くれぐれも安全に万全を期したいものです。

村上記念病院 直通電話番号

脳卒中 **ホットライン 070-6583-6677**

脳卒中治療は一刻を争います。当院では専門医が速やかな診断・治療を行います。

院内研修会等のご案内

●第14回 開放型病床研究会

平成20年2月21日(木) PM 7:30~9:00

- ①「乳腺のマンモトームとセンチネルとは何？」
安部まこと (乳腺外科)
- ②「C型慢性肝炎の治療-ALT正常例を中心として」
橋本宏明 (消化器内科)

新任医師の紹介



整形外科
なかざわ じゅんこ
助教 中澤 純子
1月より赴任



歯科・口腔外科
まつばら まこと
助教 松原 誠
1月より赴任



診療医のご案内

(平成20年2月1日現在)



診療科		月	火	水	木	金	土
総合内科		小島	丸山	福田	井田	武田	—
消化器内科	1 診	井田	高野	小島	加藤(隆)	奥田	—
	2 診	加藤(隆)	佐藤	松田	橋本	春里	—
	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	佐藤・松田
循環器内科	1 診	酢谷	加藤(周)	元廣	加藤(周)	辻本	丸山
	2 診	安部	酢谷(隔週) 安部(隔週)	辻本	酢谷	元廣	酢谷
糖尿病・甲状腺・内分泌科		猿井	武田	武田	猿井	猿井	武田
呼吸器科	(非常勤)	—	—	舟口	—	—	—
外科	1 診	山本	高折	山本	高折	川部	高折(1週) 川部(2週)
	2 診	中嶋(隔週) 門川(隔週)	川部	門川	中嶋	門川(隔週) 中嶋(隔週)	中嶋(3週) 門川(4週)
乳腺外科		安部(末)	樫木	安部(末)	樫木	安部(末)	—
脳神経外科	1 診	石澤	郭	渡會	初田	安藤	郭
	2 診 (10:30~)	安藤	初田	安藤	石澤	—	渡會
整形外科	初診	日下・河合	小橋	中澤	青芝(隔週) 徳本(隔週)	青芝	青芝・河合(1週) 小橋・河合(2週) 中澤(3週) 徳本(4週) 日下・河合(5週)
	再診	小橋	中澤	徳本	河合	河合(隔週) 徳本(隔週)	—
	予約診	徳本	青芝	日下	中澤	大友	—
	予約診	—	今泉	小橋	—	日下 中島(午後)	今泉 (隔週)
	予約診	—	河合	—	塚原	今泉	塚原 (第2週)
眼科	1 診	堀尾	—	堀尾	堀尾	堀尾	堀尾
	2 診	堀	堀	—	堀	—	堀 (隔週交代)
泌尿器科	(非常勤)	—	伊藤	土屋	—	江原	—
歯科・口腔外科		村松・松原 田村	村松・松原 田村	村松・松原 田村	村松・松原 田村・本間	村松・松原 田村	村松・松原 田村

初診のみ

【ご案内】 ● 診療受付時間は、全科8:00~11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。) ● 年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。